

ヤエムグラ (八重葎)

名前の意味：よく茂るムグラの意味。八重は、重なり合っている様子を意味する。「むぐら」は昔の日本語で、つるに刺があってよじ登る植物につける名前。

分類：双子葉類、アカネ科、ヤエムグラ属
(アカネ科の栽培植物：コーヒーノキ)

好きな場所：日当たりのよい道ばたや林の縁

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた (自生)

特徴：1ヶ所から6枚以上出ているようにみえる「葉」(本当の葉はこのうち2枚だけ)、小さな4弁の花、小さな毛の生えた実が2つつく。

種子の運ばれかた：動物の毛皮について運ばれる

花弁の数：合弁、4裂

花の時期：4－6月

食べ方：食べない

見分け方：ヒメヨツバムグラは小型。「葉」は4枚で細い楕円形。ヤエムグラの小さい時は、葉が細い楕円形のこともあるが、「葉」は6枚以上。ハナヤエムグラは、花の色がピンク色で、背が低く、「葉」の数はだいたい6枚。

見つけやすさ ★★★

見分けやすさ ★★★

総合難易度 ★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)